

教科(科目)	理科(科学と人間生活)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年(全クラス)
使用教科書	東京書籍『科学と人間生活』				
副教材等	東京書籍『ニューサポート科学と人間生活』				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
～卒業までにこのような資質・能力を育みます～
① 主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。
② 生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。
③ 国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。
○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～
① 共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。
② 工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。
③ 将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

### 2 学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。
(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
(2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
(3) 自然の事物・現象に喜んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

### 3 指導の重点

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めさせる。
--

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象の基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解している。</li> <li>科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物・現象に興味を持ち進んで関わり、自己を振り返り見通しをもって学習を進め、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>

### 5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の内容・提出状況</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul> などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の内容・提出状況</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul> などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業時の態度</li> <li>課題の内容・提出状況</li> <li>小テスト</li> <li>定期考査</li> </ul> などから、評価します。

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	生命の科学	26	微生物とその利用	・微生物の働きを人間生活と関連付けて理解する。	abc	課題 定期考査 授業時の態度
5			ヒトの生命現象	・ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解する。	abc	
6						
7	物質の科学	材料とその再利用	・金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解する。	abc	課題 定期考査 授業時の態度	
8	光や熱の科学	26	衣料と食品	・身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解する。	abc	課題 定期考査 授業時の態度
9			光の性質とその利用	・光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解する。	abc	
10						
11			熱の性質とその利用	・熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。	abc	
12					課題 定期考査 授業時の態度	
1	宇宙や地球の科学	18	太陽と地球	太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解する。	abc	課題 定期考査 授業時の態度
2			自然景観と自然災害	・身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解する。	abc	
3						

計 70 時間(50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・ 単元ごと、定期考査前、長期休業時等、適宜、課題を課します。しっかり取り組み、提出することとなります。

## 8 担当者からの一言

自然の事物・現象に関心をもち、積極的に学習することで、科学的に探究する力を養ってほしいと考えています。  
そのために、授業に積極的に参加し、目的意識を持って観察、実験などを行い、レポート作成等を通して、主体的に学習に取り組む態度と科学的に探究する力を養っていきましょう。